

学校コード F106310101225

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

東北文教大学 人間科学部 人間関係学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人富澤学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 IR室

職名・氏名 カカリチョウ ホンマ
係長 本間はるか

電話番号 023-688-2298

（夜間） 023-688-2298

e-mail ir_hyouka@t-bunkyo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、

当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

人間科学部

<人間関係学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人富澤学園

(2) 大学名

東北文教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒990-2316
山形県山形市片谷地515

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ユウキ アキオ) 結城 章夫 (平成31年4月)		
学長	(スガ カズヨシ) 須賀 一好 (平成31年4月)		
学部長	(オオモモ シンイチ) 大桃 伸一 (平成29年4月)		
学科長等	(ハナヤ ミチコ) 花屋 道子 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間科学部 人間関係学科 学士(人間関係学)	社会学・社会福祉学関係	4 年	60 人	5 人 3年次	250 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	60	人	人	60	0.71倍	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	93	-	92	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	91	-	90	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	79	-	78	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	37	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	[1]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.81	-	0.61	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	49 [-] (-)	- [-] (-)	37 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	48 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)					49 [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	49 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	- 人	他の教育機関への入学・転学(進路変更)(1名)
令和4年度	85 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{49} = \boxed{2.04} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間科学部 人間関係学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	ゼミ門	基礎ゼミⅠ	1前	1			1	1	2				
		基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2				
	基礎教養	文章表現の技術	1・2後		2								1
		くらしと倫理学	1・2後		2								1
		くらしと文学	1・2後		2								1
		くらしと憲法	1・2前		2								1
		くらしと経済	1・2前		2								1
		くらしと哲学	1・2前		2		1						
		日本語のしくみ	1・2前		2				1				
		ことばとコミュニケーション	1・2後		2		1						
		民俗と歴史	1・2後		2		1						
		社会学と社会システム	1前		2								1
	環境と生物を考える	1・2前		2								6	
	生物学の探究	1・2前		2								1	
	人間と宇宙を考える	1・2前		2		1							
外国語	英語Ⅰ	1前	1			1						1	
	英語Ⅱ	1後	1			1						1	
	英語コミュニケーションⅠ	1・2前		1								2	
	英語コミュニケーションⅡ	1・2後		1								2	
	韓国語Ⅰ	1・2前		1								1	
	韓国語Ⅱ	1・2後		1								1	
	中国語Ⅰ	1・2前		1				1					
	中国語Ⅱ	1・2後		1				1					
	フランス語Ⅰ	1・2前		1		1							
	フランス語Ⅱ	1・2後		1		1							
体育健	スポーツサイエンスⅠ	1前		1								1	
	スポーツサイエンスⅡ	1後		1								1	
情報処理	コンピュータ基礎演習	1前	1			1							
	情報倫理	1前	2				1						
	情報検索	1後		1			1						
	情報処理演習Ⅰ	1後		1		1							
	情報処理演習Ⅱ	2前		1		1							
	情報処理演習Ⅲ	2後		1		1							
	ネットワーク応用演習	2後		1								1	
図書館	生涯学習概論	2後		2								1	
	図書館概論	1・2前		2								1	
	図書館制度・経営論	2後		2								1	
	図書館情報技術論	1・2前		2			1						
地域事情	山形の歴史・文化	1・2後		2		1							
	山形の政治と行政	1・2後		2								1	
	山形の産業と経済	1・2前		2								1	
	山形のことばとくらし	1・2後		2				1				1	
	山形の信仰と伝承	1・2前		2								1	
海外事情	アメリカ事情	1・2前		2								1	
	ヨーロッパ事情	1・2後		2		1							
	中国事情	1・2後		2				1					
	韓国事情	1・2前		2								1	
海外研修	海外語学研修A(英語)	1・2・3・4前後		2		1							
	海外語学研修B(韓国語)	1・2・3・4前		2			1						
	海外語学研修C(中国語)	1・2・3・4前		2				1					
社会体験	ボランティア論	1前		2								1	
	ボランティア活動実践	1後・2・3・4		1			1						
	企業研究	1・2前		2								1	
	インターンシップ	1・2後		1								2	
小計(55科目)		-	7	80		4	3	2				25	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	ゼミ門	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1	1				
		基礎ゼミⅡ	1後	1			1	1	2				
	基礎教養	文章表現の技術	1・2後		2								1
		くらしと倫理学	1・2後		2								1
		くらしと文学	1・2後		2								1
		くらしと憲法	1・2前		2								1
		くらしと経済	1・2前		2								1
		くらしと哲学	1・2前		2		1						
		日本語のしくみ	1・2後		2				1				
		ことばとコミュニケーション	1・2後		2		1						
		民俗と歴史	1・2後		2		1						
		社会学と社会システム	1前		2								1
	環境と生物を考える	1・2前		2								6	
	生物学の探究	1・2前		2								1	
	人間と宇宙を考える	1・2前		2		1							
外国語	英語Ⅰ	1前	1			1						1	
	英語Ⅱ	1後	1			1						1	
	英語コミュニケーションⅠ	1・2前		1								2	
	英語コミュニケーションⅡ	1・2後		1								2	
	韓国語Ⅰ	1・2前		1								1	
	韓国語Ⅱ	1・2後		1								1	
	中国語Ⅰ	1・2前		1				1					
	中国語Ⅱ	1・2後		1				1					
	フランス語Ⅰ	1・2前		1		1							
	フランス語Ⅱ	1・2後		1		1							
体育健	スポーツサイエンスⅠ	1前		1								1	
	スポーツサイエンスⅡ	1後		1								1	
情報処理	コンピュータ基礎演習	1前	1			1							
	情報倫理	1前	2				1						
	情報検索	1後		1			1						
	情報処理演習Ⅰ	1後		1		1							
	情報処理演習Ⅱ	2前		1		1							
	情報処理演習Ⅲ	2後		1		1							
	ネットワーク応用演習	2後		1								1	
図書館	生涯学習概論	2後		2								1	
	図書館概論	1・2前		2								1	
	図書館制度・経営論	2後		2								1	
	図書館情報技術論	1・2前		2			1						
地域事情	山形の歴史・文化	1・2後		2		1							
	山形の政治と行政	1・2後		2								1	
	山形の産業と経済	1・2前		2								1	
	山形のことばとくらし	1・2後		2				1				1	
	山形の信仰と伝承	1・2前		2								1	
海外事情	アメリカ事情	1・2前		2								1	
	ヨーロッパ事情	1・2後		2		1							
	中国事情	1・2後		2				1					
	韓国事情	1・2前		2								1	
海外研修	海外語学研修A(英語)	1・2・3・4前後		2		1							
	海外語学研修B(韓国語)	1・2・3・4前		2			1						
	海外語学研修C(中国語)	1・2・3・4前		2				1					
社会体験	ボランティア論	1前		2								1	
	ボランティア活動実践	1後・2・3・4		1			1						
	企業研究	1・2後		2								1	
	インターンシップ	1・2後		1								2	
小計(55科目)		-	7	80		6	3	2				25	

中心科目	人間関係論	1後	2		3	1						
	人間関係演習Ⅰ	2前	1		3	3						
	人間関係演習Ⅱ	2後	1		3	3						
	人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理)	3前		1	3							
	人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション)	3前		1	1	1						
人間関係プロジェクトC (心理と福祉)	3前		1	1	2							
小計(6科目)	-	4	3		7	3						
専門基盤科目	心理学概論A	1前		2								1
	心理学概論B	1後		2		1						
	教育心理学	3前		2		1						
	障害者・障害児心理学	3後		2								1
	家族心理学	4前		2			1					
	福祉心理学	3前		2								1
	心理調査概論	2後		2		1						
	現代社会心理	1後		2		1						
	多文化理解	2・3前		2		1						
	社会福祉調査の基礎	2・3前		2								1
	障がい者福祉論	1・2後		2			1					
	児童福祉論	1・2後		2								1
	高齢者福祉論	2・3前		2				1				
	医学概論	2・3後		2								1
	関係構築の心理	1後		1		1	1					1
	産業・組織心理学	3前		2								1
	社会・集団心理学	2後		2		1						
	メディアと人間関係	2・3前		2			1					
	文字表現論	1・2後		2				1				
	対話表現論	1・2後		2			1					
	地域と多文化	2・3前		2								1
	地域共生論	2・3前		2		1						
	異文化間コラボレーション	2・3後		2		1						1
	保健医療と福祉	2・3後		2		1						
	社会福祉概論Ⅰ	1・2前		2		1	1					
	地域福祉論Ⅰ	1・2前		2			1					
小計(26科目)	-		51		8	5	2					10
専門発展科目	くらしと地域	2・3後		2		1						
	地域政策論	2・3前		2								1
	談話コミュニケーション論Ⅰ	2前		2			1					
	談話コミュニケーション論Ⅱ	2後		2			1					
	日本語学Ⅰ	2前		2				1				
	日本語学Ⅱ	2後		2					1			
	異文化論Ⅰ	2前		2		1						
	異文化論Ⅱ	2後		2		1						
	対照言語コミュニケーション論Ⅰ	2前		2		1						
	対照言語コミュニケーション論Ⅱ	2後		2		1						
	談話言語演習	2・3前		1			1					
	談話コミュニケーション演習	2・3後		1			1					
	地域言語演習	2・3前		1				1				
	地域言語コミュニケーション演習	2・3後		1					1			
	異文化演習	2・3前		1		1						
	異文化コミュニケーション演習	2・3後		1		1						
言語理解演習	2・3前		1		1							
対照言語コミュニケーション演習	2・3後		1		1							

中心科目	人間関係論	1後	2			3						
	人間関係演習Ⅰ	2前	1			3	3					
	人間関係演習Ⅱ	2後	1			3	3					
	人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理)	3前		1		3						
	人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション)	3前		1		1	1					
人間関係プロジェクトC (心理と福祉)	3前		1		2	1						
小計(6科目)	-	4	3		6	3						
専門基盤科目	心理学概論A	1前		2								1
	心理学概論B	1後		2		1						
	教育心理学	3前		2		1						
	障害者・障害児心理学	3後		2								1
	家族心理学	4前		2				1				
	福祉心理学	3前		2								1
	心理調査概論	2後		2		1						
	現代社会心理	1後		2		1						
	多文化理解	2・3前		2		1						
	社会福祉調査の基礎	2・3前		2								1
	障がい者福祉論	1・2後		2			1	1				
	児童福祉論	1・2後		2								1
	高齢者福祉論	2・3前		2					1			
	医学概論	2・3後		2								1
	関係構築の心理	1後		1		1	1					1
	産業・組織心理学	3前		2								1
	社会・集団心理学	2後		2		1						
	メディアと人間関係	2・3前		2			1					
	文字表現論	1・2後		2					1			
	対話表現論	1・2後		2			1					
	地域と多文化	2・3前		2								1
	地域共生論	2・3前		2		1						
	異文化間コラボレーション	2・3後		2		1						1
	保健医療と福祉	2・3後		2		1						
	社会福祉概論Ⅰ	1・2前		2		1	1					
	地域福祉論Ⅰ	1・2前		2			1					
小計(26科目)	-		51		8	4	2					10
専門発展科目	くらしと地域	2・3後		2		1						
	地域政策論	2・3前		2								1
	談話コミュニケーション論Ⅰ	2前		2			1					
	談話コミュニケーション論Ⅱ	2後		2			1					
	日本語学Ⅰ	2前		2					1			
	日本語学Ⅱ	2後		2						1		
	異文化論Ⅰ	2前		2		1						
	異文化論Ⅱ	2後		2		1						
	対照言語コミュニケーション論Ⅰ	2前		2		1						
	対照言語コミュニケーション論Ⅱ	2後		2		1						
	談話言語演習	2・3前		1			1					
	談話コミュニケーション演習	2・3後		1			1					
	地域言語演習	2・3前		1								1
	地域言語コミュニケーション演習	2・3後		1					1			
	異文化演習	2・3前		1		1						
	異文化コミュニケーション演習	2・3後		1		1						
言語理解演習	2・3前		1		1							
対照言語コミュニケーション演習	2・3後		1		1							

専門教育科目	専門発展科目	英語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2	1						
		韓国語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2		1					
		中国語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2			1				
		臨床心理学	2前	2	1						
		心理学研究法	2前	2	3	1					1
		心理学統計法	2前	2							1
		心理測定法	2前	2	1						
		人格心理学	3前	2	1						
		知覚心理学	2後	2	1						
		学習心理学	2後	2							1
		神経心理学	3後	2							1
		生理心理学	3後	2							1
		キャリア発達の心理学	3前	2	2	1					
		健康・医療心理学	3後	2							1
		発達心理学	2前	2		1					
		教育相談	4後	2	1						
		対人関係論	3後	2		1					
		対人行動論	3後	2	1						
		対人認知論	3前	2	1						
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2前	2		1					
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後	2							1
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2・3前	2		2					
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2・3後	2		1	1				
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3・4前	2			1				
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3後	2			1				
		社会福祉概論Ⅱ	2・3前	2							1
		地域福祉論Ⅱ	2・3・4前	2		1					
刑事司法と福祉	2・3前	2							1		
社会福祉施設運営論	2・3後	2			1						
社会保障論Ⅰ	3後	2							1		
社会保障論Ⅱ	4前	2							1		
公的扶助論	2・3・4前	2							1		
権利擁護と成年後見制度	3・4前	2							1		
小計(51科目)	—	94	7	4	3				10		
専門教育科目	専門発展科目	英語エクスプレッション実践	2・3・4後	1						1	
		韓国語エクスプレッション実践	2・3・4後	1		1					
		中国語エクスプレッション実践	2・3・4後	1			1				
		国際コミュニケーションスキル	2・3前	1	1	1					
		マルチ言語プロジェクト	2・3後	2	1	1					
		プロジェクトツアーA	2・3前	2			2				
		プロジェクトツアーB	2・3後	2	2						
		心理学基礎実験	2前	1	2	1				1	
		心理学実験A	2後	1	2	1				1	
		心理学実験B	3前	1	2	1				1	
		社会心理学調査実習	3後	1	2						
		心理検査法実習	3後	1	1					1	
		心理的アセスメント	3後	2	1					3	
		臨床心理学演習	3前	1						1	
		心理演習	3通	2	3	1					
		社会福祉士演習Ⅰ	4前	1		1	1				
		社会福祉士演習Ⅱ	4後	1		1	1				
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2	1	1					
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2	1		1				
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	2			1			1	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後	2	1					1	
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4前	2	1	1	1				
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前	1	1	2	1			1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後	1	1	2	1			1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前	1	1	2	1			1	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前	2	1	2	1			1	
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後	4	1	2	1			1	
小計(27科目)	—	41	6	4	3				8		
卒業研究	卒業研究	課題研究	3後	1		7	4	3			
		卒業研究	4通	4		7	4	3			
		小計(5科目)	—	5		7	4	3			

専門教育科目	専門発展科目	英語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2	1					
		韓国語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2		1				
		中国語エクスプレッションスキル	2・3・4前	2			1			
		臨床心理学	2前	2	1					
		心理学研究法	2前	2	3	1				1
		心理学統計法	2前	2						1
		心理測定法	2前	2	1					
		人格心理学	3前	2	1					
		知覚心理学	2後	2	1					
		学習心理学	2前	2						1
		神経心理学	3後	2						1
		生理心理学	3後	2						1
		キャリア発達の心理学	3前	2	2	1				
		健康・医療心理学	3後	2						1
		発達心理学	2前	2		1				
		教育相談	4後	2	1					
		対人関係論	3後	2		1				
		対人行動論	3後	2	1					
		対人認知論	3前	2	1					
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2前	2		1				
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2後	2						1
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2・3前	2			1	1		
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2・3後	2		1	1			
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	3・4前	2			1			
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	3後	2			1			
		社会福祉概論Ⅱ	2・3前	2						1
		地域福祉論Ⅱ	2・3・4前	2		1				
刑事司法と福祉	2・3前	2						1		
社会福祉施設運営論	2・3後	2			1					
社会保障論Ⅰ	3後	2						1		
社会保障論Ⅱ	4前	2						1		
公的扶助論	2・3・4前	2						1		
権利擁護と成年後見制度	3・4前	2						1		
小計(51科目)	—	94	7	3	3			10		
専門教育科目	専門発展科目	英語エクスプレッション実践	2・3・4後	1					1	
		韓国語エクスプレッション実践	2・3・4後	1		1				
		中国語エクスプレッション実践	2・3・4後	1			1			
		国際コミュニケーションスキル	2・3前	1	1	1				
		マルチ言語プロジェクト	2・3後	2	1	1				
		プロジェクトツアーA	2・3前	2			2			
		プロジェクトツアーB	2・3後	2	2					
		心理学基礎実験	2前	1	2	1			1	
		心理学実験A	2後	1	2	1			1	
		心理学実験B	3前	1	2	1			1	
		社会心理学調査実習	3後	1	2					
		心理検査法実習	3後	1	1				1	
		心理的アセスメント	3後	2	1				3	
		臨床心理学演習	3前	1					1	
		心理演習	3通	2	3	1				
		社会福祉士演習Ⅰ	4前	1		1	1			
		社会福祉士演習Ⅱ	4後	1		1	1			
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2前	2	1	1				
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	2後	2	1		1			
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	3前	2			1		1	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	3後	2	1				1	
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	4前	2	1	1	1			
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前	1	1	1	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後	1	1	1	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前	1	1	1	1		1	
		ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前	2	1	1	1		1	
		ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後	4	1	1	1		1	
小計(27科目)	—	41	6	3	3			8		
卒業研究	卒業研究	課題研究	3後	1		7	3	3		
		卒業研究	4通	4		7	3	3		
		小計(5科目)	—	5		7	3	3		

自由科目	リメディア ル	社会科学基礎 (言語・国語)	1前			1														1	
		社会科学基礎 (社会)	1前			1															1
		自然科学基礎 (数学)	1前			1															1
		自然科学基礎 (理科)	1前			1															1
		国際言語基礎 (英語)	1前			1															1
	小計(5科目)	—			5																5
	司書資格に係る科目	図書館サービス概論	2・3前			2															1
		情報サービス論	2・3前			2															1
		児童サービス論	2・3後			2															1
		情報サービス演習A	2・3後			1															1
		情報サービス演習B	2・3前			1		1													1
		図書館情報資源概論	1・2後			2															1
		情報資源組織論	1・2前			2															1
		情報資源組織演習A	1・2後			1															1
		情報資源組織演習B	2・3前			1															1
図書館基礎特論		1・2後			1															1	
図書館サービス特論		2・3後			1															1	
図書館情報資源特論		2・3前			1															1	
図書・図書館史		1・2後			1															1	
小計(13科目)	—			18		1														1	
アーキ ビスト デジタル 資格・科目	デジタル・アー キビスト概論	2・3前			2															1	
	地域文化とデジ タル・アーカイ ブ	2・3後			2															1	
	小計(2科目)	—			4															1	
キャ リア 支援	TOEIC対策	1・2・ 3・4前			1	1															
	韓国語検定対策	1・2・ 3・4前			1		1														
	中国語検定対策	1・2 ・3・4前			1			1													
	小計(3科目)	—			3	1	1	1													
合計(190科目)	—		16	269	27	10	5	3												51	

卒業要件及び履修方法

卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く)
 ・基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
 ・専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
 ・卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)
 ・基礎教育科目 6科目7単位
 ・専門教育科目 3科目4単位
 ・卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)
 ・基礎教育科目(26単位以上)
 「基礎教養」より8単位以上
 「地域事情」より4単位以上
 ・中心科目(2単位以上)
 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
 ・専門基盤科目(22単位以上)
 「人間の理解」より8単位以上
 「関係の構築・調整」より4単位以上
 「協働力」より4単位以上
 ・専門発展科目(38単位以上)
 「グローバルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれか1区分
 から20単位以上
 ・実践領域の「グローバルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント実践」の
 一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わせて20単
 位以上、総計124単位以上を取得すること。

自由科目	リメディア ル	社会科学基礎 (言語・国語)	1前			1														1	
		社会科学基礎 (社会)	1前			1															1
		自然科学基礎 (数学)	1前			1															1
		自然科学基礎 (理科)	1前			1															1
		国際言語基礎 (英語)	1前			1															1
	小計(5科目)	—			5																5
	司書資格に係る科目	図書館サービス概論	2・3前			2															1
		情報サービス論	2・3前			2															1
		児童サービス論	2・3後			2															1
		情報サービス演習A	2・3後			1															1
		情報サービス演習B	2・3前			1		1													1
		図書館情報資源概論	1・2後			2															1
		情報資源組織論	1・2前			2															1
		情報資源組織演習A	1・2後			1															1
		情報資源組織演習B	2・3前			1															1
図書館基礎特論		1・2後			1															1	
図書館サービス特論		2・3後			1															1	
図書館情報資源特論		2・3前			1															1	
図書・図書館史		1・2後			1															1	
小計(13科目)	—			18		1														1	
アーキ ビスト デジタル 資格・科目	デジタル・アー キビスト概論	2・3前			2															1	
	地域文化とデジ タル・アーカイ ブ	2・3後			2															1	
	小計(2科目)	—			4															1	
キャ リア 支援	TOEIC対策	1・2・ 3・4前			1	1															
	韓国語検定対策	1・2・ 3・4前			1		1														
	中国語検定対策	1・2 ・3・4前			1			1													
	小計(3科目)	—			3	1	1	1													
合計(190科目)	—		16	269	30	10	4	3												51	

卒業要件及び履修方法

卒業要件(合計124単位以上 *自由科目を除く)
 ・基礎教育科目33単位以上(含 必修7単位、選択必修26単位以上)
 ・専門教育科目66単位以上(必修4単位、選択必修62単位以上)
 ・卒業研究科目5単位必修

必修科目(合計16単位)
 ・基礎教育科目 6科目7単位
 ・専門教育科目 3科目4単位
 ・卒業研究科目 2科目5単位

選択必修(下記の要件を満たし、合計88単位以上)
 ・基礎教育科目(26単位以上)
 「基礎教養」より8単位以上
 「地域事情」より4単位以上
 ・中心科目(2単位以上)
 「人間関係プロジェクトA・B・C」より2単位以上
 ・専門基盤科目(22単位以上)
 「人間の理解」より8単位以上
 「関係の構築・調整」より4単位以上
 「協働力」より4単位以上
 ・専門発展科目(38単位以上)
 「グローバルコミュニケーション領域」「心理総合領域」「福祉マネジメント領域」のどれか1区分
 から20単位以上
 ・実践領域の「グローバルコミュニケーション実践」「心理総合実践」「福祉マネジメント実践」の
 一区分から4単位以上

上記の必修・選択必修科目104単位に加え、基礎教育科目、専門教育科目から合わせて20単
 位以上、総計124単位以上を取得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・学生の学修環境の利便性を考慮し、「人間と宇宙を考える」の開講時期を「1・2前期」から「1後・2前」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、基礎教育科目小計の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目中心科目小計の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目専門基礎科目の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、専門教育科目専門発展科目の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・教員数のカウント間違いにより、合計の兼任・兼任を「51」から「50」に変更。
- ・計算間違いにより、単位数自由の合計「27」から「30」に変更。

【令和4年度】

- ・担当教員の産休取得により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授1」、「講師2」から「教授2」、「准教授1」、「講師1」に変更
- ・担当教員の産休取得により、「日本語のしくみ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更
- ・学生の学修環境を考慮し、「人間と宇宙を考える」の開講時期を「1後・2前」から「1・2前」に変更。
- ・担当教員の持ちコマの関係のため「ネットワーク応用演習」の開講時期「2後」から「2前」に変更
- ・担当教員の持ちコマの関係のため「情報機器演習」の開講時期「2前」から「2後」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ボランティア活動実践」の担当教員を変更（【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響のため「企業研究」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更
- ・新型コロナウイルス感染症の影響のため「インターンシップ」の開講時期を「1・2後」から「2前」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「人間関係論」の専任教員配置を「教授3」、「准教授1」から「教授3」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「人間関係演習Ⅰ」の担当教員を変更（【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済）
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「人間関係演習Ⅱ」の担当教員を変更（【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済）
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い、「人間関係プロジェクトC（心理と福祉）」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い、「障がい福祉論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」、「講師1」に変更。
- ・担当教員（兼任 菊地惇）の就任辞退に伴い、「医学概論」の担当教員を変更（兼任 井上京子）
- ・担当教員の産休に伴い「地域言語演習」の、担当教員を変更（兼任 坂喜美佳）
- ・担当教員の都合により「学習心理学」の開講時期を「2後」から「2前」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い、「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師1」に変更。
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」、「講師1」から「教授1」、「講師1」に変更。
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク演習Ⅲ」の担当教員を変更（【変更後】准教授 下村美保AC教員審査済）
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」、「兼任1」から「講師1」、「兼任1」に変更。（なお、申請時の教員配置にチェックミスがあり。正しくは、「講師1」ではなく、「准教授1」である）
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク演習Ⅴ」の担当教員を「教授1」、「准教授1」、「講師1」から「教授1」、「講師1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク実習」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の担当教員を「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「兼任1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「兼任1」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「課題研究」の担当教員を「教授7」、「准教授4」、「講師3」から「教授7」、「准教授3」、「講師3」に変更
- ・担当教員（准教授 南條正人）の退職に伴い「卒業研究」の担当教員を「教授7」、「准教授4」、「講師3」から「教授7」、「准教授3」、「講師3」に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	156 科目	23 科目	190 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{190} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東北文教大学短期大学 部と共用 水路等移設に伴う山形 市との土地交換及び購 入による面積変更(4) 再測量の結果、面積増 (3)		
	校舎敷地	4,958㎡	24,910㎡ 26,253㎡	2,238㎡ 1,932㎡	32,106㎡ 33,143㎡			
	運動場用地	0㎡	5,084㎡ 4,962㎡	0㎡	5,084㎡ 4,962㎡			
	小 計	4,958㎡	29,994㎡ 31,215㎡	2,238㎡ 1,932㎡	37,190㎡ 38,105㎡			
	そ の 他	0㎡	4,090㎡ 4,124㎡ 3,806㎡	0㎡	4,090㎡ 4,124㎡ 3,806㎡			
	合 計	4,958㎡	34,084㎡ 34,118㎡ 35,021㎡	2,238㎡ 1,932㎡	41,280㎡ 41,341㎡ 41,911㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 一部短期大学部と共用 学内按分変更のため面 積増減(4)		
		2,496㎡ 2,552㎡ (-2,496㎡) (2,552㎡)	9,490㎡ (9,490㎡)	2,077㎡ 2,021㎡ (-2,077㎡) (2,021㎡)	14,063㎡ (14,063㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		11室	7室	4室	3室 (補助職員 3人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間科学部 人間関係学科			16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 短期大学部との共用部 分を含む 図書 90,752冊 学術雑誌 58種 視聴覚資料 1069点 機械・器具 122点
	人間関係学科	34,914 [3,209] (34,914 [3,209])	19 [4] (19 [4])	7 [2] (7 [2])	200 (200)	539 (539)	0 (0)	
	計	34,914 [3,209] (34,914 [3,209])	19 [4] (19 [4])	7 [2] (7 [2])	200 (200)	539 (539)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,700㎡		175		120000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,490㎡		フットサルコート 1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,990千円	- 千円	- 千円	
	共同研究費等	200千円	200千円	設備購入費	3,003千円	- 千円	- 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,262千円	第2年次 982千円	第3年次 982千円	第4年次 982千円	第5年次 - 千円	第6年次 - 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東北文教大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人 3年次	人		倍	倍	年度	年度		
人間科学部											
子ども教育学科	4	70	5	290	学士(教育学)	1.06	0.92	-	平成22	山形県山形市片谷地515	
人間関係学科	4	60	5	250	学士(人間関係学)	0.71	0.61	-	令和3	山形県山形市片谷地515	
大学全体	-	130	10	540	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	東北文教大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
子ども学科	2	100	-	200	短期大学士(子ども学)	0.87	0.77	-	平成17	山形県山形市片谷地515	
現代福祉学科	2	60	-	120	短期大学士(現代福祉学)	0.53	0.55	-	平成13	山形県山形市片谷地515	
短期大学全体	-	160	-	320	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間科学部 人間関係学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花屋 道子 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 心理学概論B 関係構築の心理※ 臨床心理学 心理学研究法※ キャリア発達の心理学※ 教育相談 対人認知論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理検査法実習※ 心理的アセスメント※ 心理演習 課題研究 卒業研究
		大江 篤志 <令和3年4月> 博士(文学)
専	教授	人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 現代社会心理 社会・集団心理学 心理学研究法※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
		黒沢 晶子 <令和3年4月> 博士(言語学)
専	教授	ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究
		ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花屋 道子 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 心理学概論B 関係構築の心理※ 臨床心理学 心理学研究法※ キャリア発達の心理学※ 教育相談 対人認知論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理検査法実習※ 心理的アセスメント※ 心理演習 課題研究 卒業研究
		大江 篤志 <令和3年4月> 博士(文学)
専	教授	人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 現代社会心理 社会・集団心理学 心理学研究法※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
		黒沢 晶子 <令和3年4月> 博士(言語学)
専	教授	ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究
		ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	花屋 道子 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 心理学概論B 関係構築の心理※ 臨床心理学 心理学研究法※ キャリア発達の心理学※ 教育相談 対人認知論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理検査法実習※ 心理的アセスメント※ 心理演習 課題研究 卒業研究 基礎ゼミⅠ
		大江 篤志 <令和3年4月> 博士(文学)
専	教授	人間関係プロジェクトA(コミュニケーションと心理) 現代社会心理 社会・集団心理学 心理学研究法※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
		黒沢 晶子 <令和3年4月> 博士(言語学)
専	教授	ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究
		ことばとコミュニケーション 人間関係論※ 多文化理解 対照言語コミュニケーション論Ⅰ 対照言語コミュニケーション論Ⅱ 言語理解演習 対照言語コミュニケーション演習 国際コミュニケーションスキル マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアー-B 課題研究 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	今井(阿部) 裕美 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		英語 I 英語 II 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理) 異文化間コラボレーション 異文化論 I 異文化論 II 異文化演習 異文化コミュニケーション演習 英語エクスペリメンタルスキル TOEIC対策 プロジェクトツアーB 課題研究 卒業研究
専	教授	菊地 和博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究
専	教授	橋本 美香 ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		人間関係論※ 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション) ソーシャルワーク演習 I※ ソーシャルワーク演習 II※ ソーシャルワーク演習 IV※ ソーシャルワーク演習 V※ ソーシャルワーク実習指導 I※ ソーシャルワーク実習指導 II※ ソーシャルワーク実習指導 III※ ソーシャルワーク実習 I※ ソーシャルワーク実習 II※ 課題研究 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	今井(阿部) 裕美 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		英語 I 英語 II 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理) 異文化間コラボレーション 異文化論 I 異文化論 II 異文化演習 異文化コミュニケーション演習 英語エクスペリメンタルスキル TOEIC対策 プロジェクトツアーB 課題研究 卒業研究
専	教授	菊地 和博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究
専	教授	橋本 美香 ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		人間関係論※ 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション) ソーシャルワーク演習 I※ ソーシャルワーク演習 II※ ソーシャルワーク演習 IV※ ソーシャルワーク演習 V※ ソーシャルワーク実習指導 I※ ソーシャルワーク実習指導 II※ ソーシャルワーク実習指導 III※ ソーシャルワーク実習 I※ ソーシャルワーク実習 II※ 課題研究 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	今井(阿部) 裕美 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)
		英語 I 英語 II 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトA (コミュニケーションと心理) 異文化間コラボレーション 異文化論 I 異文化論 II 異文化演習 異文化コミュニケーション演習 英語エクスペリメンタルスキル TOEIC対策 プロジェクトツアーB 課題研究 卒業研究
専	教授	菊地 和博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		民俗と歴史 山形の歴史・文化 地域共生論 くらしと地域 課題研究 卒業研究
専	教授	橋本 美香 ＜令和4年4月＞ 博士(看護学)
		人間関係論※ 人間関係演習 I 人間関係演習 II 人間関係プロジェクトB (福祉とコミュニケーション) ソーシャルワーク演習 I※ ソーシャルワーク演習 II※ ソーシャルワーク演習 IV※ ソーシャルワーク演習 V※ ソーシャルワーク実習指導 I※ ソーシャルワーク実習指導 II※ ソーシャルワーク実習指導 III※ ソーシャルワーク実習 I※ ソーシャルワーク実習 II※ 課題研究 卒業研究 人間関係プロジェクトC (心理と福祉) 障がい者福祉論 ソーシャルワーク演習V※ (担当回数の追加)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 浩平 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 教育心理学 心理調査概論 心理学研究法※ 心理測定法 人格心理学 知覚心理学 キャリア発達の心理学※ 対人行動論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
専	教授	阿部いそみ <令和3年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ くらしと哲学 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ヨーロッパ事情 海外語学研修A(英語)
専	教授	大野 寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅲ
専	教授	山川 敏久 <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学)
		保健医療と福祉 社会福祉概論Ⅰ
専	准教授	澤 恩嬉 <令和3年4月> 修士(文学)
		海外語学研修B(韓国語) 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトB(福祉とコミュニケーション) 対話表現論 談話コミュニケーション論Ⅰ 談話コミュニケーション論Ⅱ 談話言語演習 談話コミュニケーション演習 韓国語エクスプレッションスキル 韓国語検定対策 韓国語エクスプレッション実践 課題研究 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 浩平 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 教育心理学 心理調査概論 心理学研究法※ 心理測定法 人格心理学 知覚心理学 キャリア発達の心理学※ 対人行動論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
専	教授	阿部いそみ <令和3年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ くらしと哲学 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ヨーロッパ事情 海外語学研修A(英語)
専	教授	大野 寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅲ
専	教授	山川 敏久 <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学)
		保健医療と福祉 社会福祉概論Ⅰ
専	准教授	澤 恩嬉 <令和3年4月> 修士(文学)
		海外語学研修B(韓国語) 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトB(福祉とコミュニケーション) 対話表現論 談話コミュニケーション論Ⅰ 談話コミュニケーション論Ⅱ 談話言語演習 談話コミュニケーション演習 韓国語エクスプレッションスキル 韓国語検定対策 韓国語エクスプレッション実践 課題研究 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 浩平 <令和3年4月> 修士(文学)
		人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 教育心理学 心理調査概論 心理学研究法※ 心理測定法 人格心理学 知覚心理学 キャリア発達の心理学※ 対人行動論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 社会心理学調査実習 心理演習 課題研究 卒業研究
専	教授	阿部いそみ <令和3年4月> 文学修士
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ くらしと哲学 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ ヨーロッパ事情 海外語学研修A(英語)
専	教授	大野 寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		人間と宇宙を考える コンピュータ基礎演習 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅲ
専	教授	山川 敏久 <令和3年4月> 社会学修士(社会福祉学)
		保健医療と福祉 社会福祉概論Ⅰ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※
専	准教授	澤 恩嬉 <令和3年4月> 修士(文学)
		海外語学研修B(韓国語) 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトB(福祉とコミュニケーション) 対話表現論 談話コミュニケーション論Ⅰ 談話コミュニケーション論Ⅱ 談話言語演習 談話コミュニケーション演習 韓国語エクスプレッションスキル 韓国語検定対策 韓国語エクスプレッション実践 課題研究 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永盛 善博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 家族心理学 関係構築の心理※ 心理学研究法※ キャリア発達心理学※ 発達心理学 対人関係論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理演習 課題研究 卒業研究
専	准教授	南條 正人 ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		ボランティア活動実践 人間関係論※ 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 障がい者福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※ 課題研究 卒業研究
専	准教授	依田 平 ＜令和3年4月＞ 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 情報倫理 情報検索 情報処理演習Ⅱ 情報機器演習 図書館情報技術論 メディアと人間関係 情報サービス演習B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永盛 善博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 家族心理学 関係構築の心理※ 心理学研究法※ キャリア発達心理学※ 発達心理学 対人関係論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理演習 課題研究 卒業研究
専	准教授	南條 正人 ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		ボランティア活動実践 人間関係論※ 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 障がい者福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※ 課題研究 卒業研究
専	准教授	依田 平 ＜令和3年4月＞ 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 情報倫理 情報検索 情報処理演習Ⅱ 情報機器演習 図書館情報技術論 メディアと人間関係 情報サービス演習B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	永盛 善博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ 人間関係プロジェクトC(心理と福祉) 家族心理学 関係構築の心理※ 心理学研究法※ キャリア発達心理学※ 発達心理学 対人関係論【隔年】 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※ 心理演習 課題研究 卒業研究
専	准教授	依田 平 ＜令和3年4月＞ 修士(学術)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 情報倫理 情報検索 情報処理演習Ⅱ 情報機器演習 図書館情報技術論 メディアと人間関係 情報サービス演習B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下村 美保 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉論Ⅰ 社会福祉概論Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ 地域福祉論Ⅱ 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※ 課題研究 卒業研究
専	講師	津坂 貢政 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国事情 海外語学研修C(中国語) 文字表現論 中国語エクスペリメンタルスキル 中国語検定対策 中国語エクスペリメンタル実践 国際コミュニケーションスキル プロジェクトツアーA 課題研究 卒業研究
専	講師	佐藤 亜実 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本語のしくみ 山形のことばとくらし 日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ 地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習 マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアーA 課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下村 美保 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉論Ⅰ 社会福祉概論Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ 地域福祉論Ⅱ 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※ 課題研究 卒業研究
専	講師	津坂 貢政 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国事情 海外語学研修C(中国語) 文字表現論 中国語エクスペリメンタルスキル 中国語検定対策 中国語エクスペリメンタル実践 国際コミュニケーションスキル プロジェクトツアーA 課題研究 卒業研究
専	講師	佐藤 亜実 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本語のしくみ 山形のことばとくらし 日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ 地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習 マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアーA 課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下村 美保 <令和3年4月> 修士(社会福祉学)
		地域福祉論Ⅰ 社会福祉概論Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ 地域福祉論Ⅱ 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※ 課題研究 卒業研究 ボランティア活動実践 人間関係演習Ⅰ 人間関係演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ (担当回数追加) ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ (担当回数追加)
専	講師	津坂 貢政 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国事情 海外語学研修C(中国語) 文字表現論 中国語エクスペリメンタルスキル 中国語検定対策 中国語エクスペリメンタル実践 国際コミュニケーションスキル プロジェクトツアーA 課題研究 卒業研究
専	講師	佐藤 亜実 <令和3年4月> 博士(文学)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本語のしくみ 山形のことばとくらし 日本語学Ⅰ 日本語学Ⅱ 地域言語演習 地域言語コミュニケーション演習 マルチ言語プロジェクト プロジェクトツアーA 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	高梨 友也 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)
		高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ 社会福祉施設運営論 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ 課題研究 卒業研究
兼任	教授	鈴木 隆 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		環境と生物を考える 生物学の探究
兼任	教授	山口 常夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	柳谷 豊彦 ＜令和3年4月＞ 学士(文学士)
		社会科学基礎(言語・国語)
兼任	准教授	福田 真一 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		心理学概論A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※
兼任	准教授	眞壁 豊 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		ネットワーク応用演習
兼任	講師	佐藤 政士 ＜令和3年4月＞ 教育学士
		自然科学基礎(数学)
兼任	講師	三道 なぎさ ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		臨床心理学演習 心理検査法実習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	高梨 友也 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)
		高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ 社会福祉施設運営論 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ 課題研究 卒業研究
兼任	教授	鈴木 隆 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		環境と生物を考える 生物学の探究
兼任	教授	山口 常夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	柳谷 豊彦 ＜令和3年4月＞ 学士(文学士)
		社会科学基礎(言語・国語)
兼任	准教授	福田 真一 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		心理学概論A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※
兼任	准教授	眞壁 豊 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		ネットワーク応用演習
兼任	講師	佐藤 政士 ＜令和3年4月＞ 教育学士
		自然科学基礎(数学)
兼任	講師	三道 なぎさ ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		臨床心理学演習 心理検査法実習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	高梨 友也 ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学)
		高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ※ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ 社会福祉施設運営論 社会福祉士演習Ⅰ※ 社会福祉士演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅱ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ 課題研究 卒業研究 障がい者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ※ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅴ※(担当回数の追加)
兼任	教授	鈴木 隆 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		環境と生物を考える 生物学の探究
兼任	教授	山口 常夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	教授	柳谷 豊彦 ＜令和3年4月＞ 学士(文学士)
		社会科学基礎(言語・国語)
兼任	准教授	福田 真一 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		心理学概論A 心理学研究法※ 心理学基礎実験※ 心理学実験A※ 心理学実験B※
兼任	准教授	眞壁 豊 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		ネットワーク応用演習
兼任	講師	佐藤 政士 ＜令和3年4月＞ 教育学士
		自然科学基礎(数学)
兼任	講師	三道 なぎさ ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		臨床心理学演習 心理検査法実習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 晃 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション
兼任	講師	佐久間美智雄 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学修士
		児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
兼任	講師	熊谷 義隆 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		文章表現の技術 くらしと文学
兼任	講師	伊藤 弘昭 ＜令和3年4月＞ 学芸学士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習A 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史
兼任	講師	サイモン・リーヴス ＜令和3年4月＞ BA PGCE (英国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	齋藤由美子 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		インターンシップ 地域と多文化
兼任	講師	齋藤 美穂 ＜令和4年4月＞ 教育学学士
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※
兼任	講師	平田 俊博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		くらしと倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 晃 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション
兼任	講師	佐久間美智雄 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学修士
		児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
兼任	講師	熊谷 義隆 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		文章表現の技術 くらしと文学
兼任	講師	伊藤 弘昭 ＜令和3年4月＞ 学芸学士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習A 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史
兼任	講師	サイモン・リーヴス ＜令和3年4月＞ BA PGCE (英国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	齋藤由美子 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		インターンシップ 地域と多文化
兼任	講師	齋藤 美穂 ＜令和4年4月＞ 教育学学士
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※
兼任	講師	平田 俊博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		くらしと倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 晃 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		山形のことばとくらし 山形の信仰と伝承 企業研究 インターンシップ 異文化間コラボレーション
兼任	講師	佐久間美智雄 ＜令和3年4月＞ 社会福祉学修士
		児童福祉論 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ
兼任	講師	熊谷 義隆 ＜令和3年4月＞ 文学修士
		文章表現の技術 くらしと文学
兼任	講師	伊藤 弘昭 ＜令和3年4月＞ 学芸学士
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報サービス論 児童サービス論 情報サービス演習A 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 図書館基礎特論 図書館サービス特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史
兼任	講師	サイモン・リーヴス ＜令和3年4月＞ BA PGCE (英国)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	齋藤由美子 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		インターンシップ 地域と多文化
兼任	講師	齋藤 美穂 ＜令和4年4月＞ 教育学学士
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ※ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ※ ソーシャルワーク実習Ⅰ※ ソーシャルワーク実習Ⅱ※
兼任	講師	平田 俊博 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		くらしと倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 紘一 ＜令和3年4月＞ 法学博士
		くらしと憲法
兼任	講師	國方 敬司 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		くらしと経済
兼任	講師	滝口克典 ＜令和3年4月＞ 修士(歴史学) 修士(公益学)
		社会学と社会システム
兼任	講師	原 慶明 ＜令和3年3月＞ 理学博士
		環境と生物を考える
兼任	講師	山崎 裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	高橋 和也 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 哲 ＜令和3年4月＞ 修士(生物学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	小田 良子 ＜令和3年4月＞ 学士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語エクスペリメンタル実践
兼任	講師	權 純縣 ＜令和3年4月＞ 学士(日本文学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国事情
兼任	講師	沼澤 靖浩 ＜令和3年4月＞ 修士(体育科学)
		スポーツサイエンスⅠ スポーツサイエンスⅡ
兼任	講師	安藤 耕己 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		生涯学習概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 紘一 ＜令和3年4月＞ 法学博士
		くらしと憲法
兼任	講師	國方 敬司 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		くらしと経済
兼任	講師	滝口克典 ＜令和3年4月＞ 修士(歴史学) 修士(公益学)
		社会学と社会システム
兼任	講師	原 慶明 ＜令和3年3月＞ 理学博士
		環境と生物を考える
兼任	講師	山崎 裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	高橋 和也 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 哲 ＜令和3年4月＞ 修士(生物学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	小田 良子 ＜令和3年4月＞ 学士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語エクスペリメンタル実践
兼任	講師	權 純縣 ＜令和3年4月＞ 学士(日本文学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国事情
兼任	講師	沼澤 靖浩 ＜令和3年4月＞ 修士(体育科学)
		スポーツサイエンスⅠ スポーツサイエンスⅡ
兼任	講師	安藤 耕己 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		生涯学習概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高木 紘一 ＜令和3年4月＞ 法学博士
		くらしと憲法
兼任	講師	國方 敬司 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		くらしと経済
兼任	講師	滝口克典 ＜令和3年4月＞ 修士(歴史学) 修士(公益学)
		社会学と社会システム
兼任	講師	原 慶明 ＜令和3年3月＞ 理学博士
		環境と生物を考える
兼任	講師	山崎 裕 ＜令和3年4月＞ 博士(農学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	高橋 和也 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 哲 ＜令和3年4月＞ 修士(生物学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	横山 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		環境と生物を考える
兼任	講師	小田 良子 ＜令和3年4月＞ 学士(文学)
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語エクスペリメンタル実践
兼任	講師	權 純縣 ＜令和3年4月＞ 学士(日本文学)
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国事情
兼任	講師	沼澤 靖浩 ＜令和3年4月＞ 修士(体育科学)
		スポーツサイエンスⅠ スポーツサイエンスⅡ
兼任	講師	安藤 耕己 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		生涯学習概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北川 忠明 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		山形の政治と行政 地域政策論
兼任	講師	下平 裕之 ＜令和3年4月＞ 修士(経済学)
		山形の産業と経済
兼任	講師	伊藤 豊 ＜令和3年4月＞ Ph.D. (American History, Cultural) (米国)
		アメリカ事情
兼任	講師	奥山留美子 ＜令和3年4月＞ 学士(家政学)
		ボランティア論
兼任	講師	今泉 岳雄 ＜令和3年4月＞ 文学士(心理学)
		障害者・障害児心理学
兼任	講師	平泉 拓 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		福祉心理学
兼任	講師	阿部 晃士 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		社会福祉調査の基礎
兼任	講師	沼山 博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		関係構築の心理※
兼任	講師	佐藤 恵美 ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		産業・組織心理学
兼任	講師	村木 英治 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Psychometric) (米国)
		心理学統計法 学習心理学
兼任	講師	大村 一史 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】
兼任	講師	佐々木大輔 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康・医療心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北川 忠明 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		山形の政治と行政 地域政策論
兼任	講師	下平 裕之 ＜令和3年4月＞ 修士(経済学)
		山形の産業と経済
兼任	講師	伊藤 豊 ＜令和3年4月＞ Ph.D. (American History, Cultural) (米国)
		アメリカ事情
兼任	講師	奥山留美子 ＜令和3年4月＞ 学士(家政学)
		ボランティア論
兼任	講師	今泉 岳雄 ＜令和3年4月＞ 文学士(心理学)
		障害者・障害児心理学
兼任	講師	平泉 拓 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		福祉心理学
兼任	講師	阿部 晃士 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		社会福祉調査の基礎
兼任	講師	沼山 博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		関係構築の心理※
兼任	講師	佐藤 恵美 ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		産業・組織心理学
兼任	講師	村木 英治 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Psychometric) (米国)
		心理学統計法 学習心理学
兼任	講師	大村 一史 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】
兼任	講師	佐々木大輔 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康・医療心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北川 忠明 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		山形の政治と行政 地域政策論
兼任	講師	下平 裕之 ＜令和3年4月＞ 修士(経済学)
		山形の産業と経済
兼任	講師	伊藤 豊 ＜令和3年4月＞ Ph.D. (American History, Cultural) (米国)
		アメリカ事情
兼任	講師	奥山留美子 ＜令和3年4月＞ 学士(家政学)
		ボランティア論
兼任	講師	今泉 岳雄 ＜令和3年4月＞ 文学士(心理学)
		障害者・障害児心理学
兼任	講師	平泉 拓 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		福祉心理学
兼任	講師	阿部 晃士 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		社会福祉調査の基礎
兼任	講師	沼山 博 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		関係構築の心理※
兼任	講師	佐藤 恵美 ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		産業・組織心理学
兼任	講師	村木 英治 ＜令和4年4月＞ Ph.D. (Psychometric) (米国)
		心理学統計法 学習心理学
兼任	講師	大村 一史 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		神経心理学【隔年】 生理心理学【隔年】
兼任	講師	佐々木大輔 ＜令和5年4月＞ 医学博士
		健康・医療心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	坂上 洋 ＜令和4年4月＞ 学士(社会教育学)
		社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※
兼任	講師	柴田 邦昭 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		刑事司法と福祉 公的扶助論
兼任	講師	宮川 系子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	高橋 理美 ＜令和5年4月＞ 修士(臨床心理学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	曾川あゆみ ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	吉田 敏明 ＜令和3年4月＞ 学士(経済学)
		社会科学基礎(社会)
兼任	講師	阿部 均 ＜令和3年4月＞ 学士(理学)
		自然科学基礎(理科)
兼任	講師	手塚 美雄 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		国際言語基礎(英語)
兼任	講師	伊勢 博 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイブ
兼任	講師	菊地 惇 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		医学概論
兼任	講師	栗野 和之 ＜令和5年4月＞ 経済学修士
		法務博士(専門職)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	坂上 洋 ＜令和4年4月＞ 学士(社会教育学)
		社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※
兼任	講師	柴田 邦昭 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		刑事司法と福祉 公的扶助論
兼任	講師	宮川 系子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	高橋 理美 ＜令和5年4月＞ 修士(臨床心理学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	曾川あゆみ ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	吉田 敏明 ＜令和3年4月＞ 学士(経済学)
		社会科学基礎(社会)
兼任	講師	阿部 均 ＜令和3年4月＞ 学士(理学)
		自然科学基礎(理科)
兼任	講師	手塚 美雄 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		国際言語基礎(英語)
兼任	講師	伊勢 博 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイブ
兼任	講師	菊地 惇 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		医学概論
兼任	講師	栗野 和之 ＜令和5年4月＞ 経済学修士
		法務博士(専門職)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	坂上 洋 ＜令和4年4月＞ 学士(社会教育学)
		社会福祉概論Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ※ ソーシャルワーク演習Ⅳ※
兼任	講師	柴田 邦昭 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		刑事司法と福祉 公的扶助論
兼任	講師	宮川 系子 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	高橋 理美 ＜令和5年4月＞ 修士(臨床心理学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	曾川あゆみ ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		心理的アセスメント※
兼任	講師	吉田 敏明 ＜令和3年4月＞ 学士(経済学)
		社会科学基礎(社会)
兼任	講師	阿部 均 ＜令和3年4月＞ 学士(理学)
		自然科学基礎(理科)
兼任	講師	手塚 美雄 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		国際言語基礎(英語)
兼任	講師	伊勢 博 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		デジタルアーキビスト概論 地域文化とデジタルアーカイブ
兼任	講師	井上 京子 ＜令和4年5月＞ 看護学修士
		医学概論
兼任	講師	栗野 和之 ＜令和5年4月＞ 経済学修士
		法務博士(専門職)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	坂喜 美佳
		＜令和4年4月＞ 博士(文学) 地域言語演習

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

- ・一身上の理由により、南條正人准教授退職。担当授業科目を下記のとおり担当変更。
- ・「ボランティア活動実践」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
- ・「人間関係演習Ⅰ」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
他の共同担当である、阿部裕美教授、花屋道子教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授と6名で担当する。
- ・「人間関係演習Ⅱ」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
他の共同担当である、阿部裕美教授、花屋道子教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授と6名で担当する。
- ・「人間関係プロジェクトC(心理と福祉)」を、橋本美香教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
他の共同担当である、松田浩平教授、永盛善博准教授と3名で担当する。
- ・「障がい者福祉論」を、橋本美香教授、高梨友也講師に変更する。(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ」を、山川敏久教授に変更する。(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」を、高梨友也講師に変更する。(令和4年2月教員審査済)
下村美保准教授と2名で担当する。
- ・「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」を、山川敏久教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
高梨友也講師と2名で担当する。
- ・「ソーシャルワーク演習Ⅰ」を、下村美保准教授に変更。(令和4年2月教員審査済)
橋本美香教授と2名で担当する。
- ・「ソーシャルワーク演習Ⅲ」を、高梨友也講師に変更。(令和4年2月教員審査済)
坂上洋兼任講師と2名で担当する。
- ・「ソーシャルワーク演習Ⅴ」を、橋本美香教授と高梨友也講師の2名に担当変更。(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、高梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。
(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、高梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。
(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、高梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。
(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、高梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。
(令和4年2月教員審査済)
- ・「ソーシャルワーク実習Ⅱ」を、他の共同担当である、橋本美香教授、下村美保准教授、高梨友也講師、齋藤美穂兼任講師の4名で担当する。
(令和4年2月教員審査済)
- ・「課題研究」の担当を、花屋道子教授、阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授、佐藤亜実講師、津坂貢政講師、高梨友也講師の13名に変更する。
- ・「卒業研究」の担当を、花屋道子教授、阿部裕美教授、黒沢晶子教授、菊地和博教授、大江篤志教授、松田浩平教授、橋本美香教授、澤恩嬉准教授、永盛善博准教授、下村美保准教授、佐藤亜実講師、津坂貢政講師、高梨友也講師の13名に変更する。
- ・佐藤亜実講師の産休育休取得により、「基礎ゼミⅠ」の担当変更。
- ・花屋道子教授、佐藤亜実講師の産休育休取得に伴い「基礎ゼミⅠ」を担当。(令和4年2月教員審査済)
- ・佐藤亜実講師の産休育休取得により、「地域言語演習」の担当を坂喜美佳兼任講師に変更。
- ・菊地和博兼任講師就任辞退のため、「医学概論」の担当を井上京子兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡書書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	5	3	0	18	0	10	4	3	0	17	0
(9)	(5)	(3)	(0)	(17)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	4	3	0	17	0	10	4	3	0	17	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	5 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{18} = \boxed{94.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{5}{17} = \boxed{29.41} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	南條 正人	R4.3	選択	ボランティア活動実践	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任 (4)						
				必修	人間関係演習Ⅰ	①							
				必修	人間関係演習Ⅱ	①							
				選択	人間関係プロジェクトC（心理と福祉）	①							
				選択	障がい者福祉論	①							
				選択	ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ	①							
				選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	①							
				選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	①							
				選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ	①							
				選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ	①							
				選択	ソーシャルワーク演習Ⅴ	①							
				選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	①							
				選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	①							
				選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	①							
				選択	ソーシャルワーク実習Ⅰ	①							
				選択	ソーシャルワーク実習Ⅱ	①							
必修	課題研究	①											
必修	卒業研究	①											
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{18} = 5.55\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						①	②	③	
合計						後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員 について記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>(大学の所見)</p> <p>1. 令和3年度末をもって退職の南條正人准教授の担当科目については、担当教員変更にかかるAC教員審査において「可」との判定を受けており、これに基づき設置計画履行中である。</p> <p>2. 産前・産後及び育児休業となる佐藤亜実講師の令和4年度前期担当科目については、前期開講が必要な「基礎ゼミⅠ」について担当教員変更にかかるAC審査で「可」との判定を受け、これに基づき設置計画を履行している。</p> <p>佐藤講師の「基礎ゼミⅠ」以外の担当科目については、開講学期変更により対応する予定で進めていたが、これらの科目のうち「地域言語演習」について、教育の負担保のための対応が必要であることがAC審査後に判明した。具体的には、「地域言語演習」は学外フィールドワークを含む授業科目であり、学生の専門発展科目履修選択の仕方によっては、演習がもともと4科目 (うち1科目「地域言語コミュニケーション演習」も学外フィールドワークを含む) 設定されているところに、さらに1科目が加わることで5科目となり、学生にとって授業時間外活動の時間が多くなり、設置計画時の想定よりも後期の授業負担が大きくなってしまおうという問題である。</p> <p>これを解決するためには「地域言語演習」の担当者を変更して前期に開講するのが最適と考え、令和4年度に限った一時的措置として、担当専任教員と同等以上の研究業績及び授業能力を有する国立大学講師に非常勤を依頼し、地域言語演習を前期に開講する対応をとった。</p> <p>(学生への周知方法)</p> <p>令和3年度末退職の南條正人准教授の担当科目について、2年次学生に対しては令和4年度前期オリエンテーションにおいて教員変更を周知し、担当者が誰であるのかを明確にするほか、各授業の初回において、教員が変更になっても授業内容に変更のないことを伝えた。また、1年次学生に対しては、入学時オリエンテーションの際に、学科における教育を担当する全教員を、各々の担当科目とともに紹介し、周知した。産前・産後及び育児休業期間のため、開講学期が変更となる佐藤亜実講師の担当科目については、前期オリエンテーションの教務ガイダンスにおいて、開講時期の変更について説明を行った。また、前項に挙げた「地域言語演習」についても、教務ガイダンスにおいて周知したほか、授業の初回において、教員が変更になっても授業内容に変更のないことを重ねて伝えた。</p>

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和2年)</p>	<p>・本学科とコースの関係、各コースの説明、コース分属について、入学前の学生に対しては入学者選抜要項等により、入学者に対しては学生便覧等により確実に学生へ明示することが望ましい。また、特に「グローバルコミュニケーションコース」は、外国語の学修にとどまらず、コミュニケーション学を学修することが確実に分かるよう説明すること。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>指摘を踏まえ、学科とコースの関係、各コースの説明について、入学者に対しては学科オリエンテーションで履修モデル等資料を明示し、説明を行った。 コース分属については、年度中に複数回説明機会を計画している。入学前の学生に対しては、現在準備中の大学案内冊子・パンフレット等への記載を行っていく (3)</p> <p>指摘を踏まえ、学科とコースの関係、各コースの説明について、学科オリエンテーションで履修モデル等資料を明示し、説明を行った。(添付資料1、添付資料2参照) またコース分属について複数回の説明会を開催し、学生のコース分属が完了した。(添付資料3、添付資料4、添付資料5、添付資料6参照) なお、入学前の学生に対しては、大学案内で説明を行っている。(添付資料7参照) (4)</p> <p>履行済</p>
<p>認 可 時 (令和2年)</p>	<p>・「人間関係学」の概念である「対人認知」、「社会的相互作用」、「コミュニケーション」の3つの要素を包括できる教育研究・人材育成分野として、本学科に3つのコースを置くこととしているが、福祉マネジメントコースの説明で、3つの要素のうち、主に「対人認知」と「コミュニケーション」の2つの要素が重要であると説明がある一方、図においては「対人認知」と「社会的相互作用」が関連すると示されている。本コースにおいて、3つの要素全てが重要と考えられるので、適切に改めるとともに、設置計画の履行に当たり留意すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>指摘を踏まえ、「設置の趣旨及び必要性」の図及び記述を修正した。(3)</p> <p>履行済</p>

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・心理総合コース以外のコースであっても「認定心理士」の資格取得ができるなど、各専門領域とコースの関係が不明確であるため、学科におけるコースの位置付けやコース選択の意義について、早期の段階から学生に誤解を与えないよう明確に説明することが望ましい。また、心理総合コース以外のコースで「認定心理士」の資格を取得するに当たっての時間割や修得単位数などの留意点を事前に学生へ周知することが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>心理総合コースの学生については、「認定心理士」の資格取得を前提として、「認定心理士(心理調査)」の資格取得に向けた履修推奨科目の提示などの履修指導を検討と計画を進めている。心理総合コース以外のコースで「認定心理士」資格を取得する学生についても、履修モデルを準備中である。(3)</p> <p>心理総合コースの学生については、「認定心理士」の資格取得を前提として、「認定心理士(心理調査)」の資格取得に向けた履修推奨科目の提示などの履修指導を行った。心理総合コース以外のコースで「認定心理士」資格を取得する学生についても、履修モデルの作成を検討したが、他科目に関する学生の履修バリエーションがきわめて多様であるため、個別に履修指導を行う体制に切りかえ、このことを学生に周知した。(添付資料8、添付資料9参照)(4)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・心理総合コースについて、心理学の学びの方向性を履修モデルや学生要覧に記載するなどにより学生へ示すことが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>今年度入学者に対して、オリエンテーション時に履修モデル資料を提示し、心理学の学びの方向性を示した。次年度は履修モデルを履修の手引きの冊子内に掲載する。(3)</p> <p>履修モデルを履修の手引きのファイルにとじ込み、心理学の学びの方向性を学生に示した。(添付資料10、添付資料11参照)(4)</p>	<p>履行済</p>	
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・福祉マネジメントコースにおいて、「社会変革(ソーシャルアクション)を模索する協働力を育成する」旨説明があるが、ソーシャルアクションは社会変革に比べて非常に限定的な意味であることから、これを改め、適切に学生へ周知すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>指摘を踏まえ、「設置の趣旨及び必要性」の記述を修正した。(3)</p>	<p>履行済</p>	

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>定年を迎える教員の後任人事については、計画的な若手教員の採用計画などの検討や実施を行っていく。</p>	<p>履行中</p>	<p>将来構想委員会、人事委員会において、採用計画を検討する。</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)</p>	<p>該当なし</p>				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間科学部 人間関係学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、大学・短期大学部全学科の委員(各学科1～2名)で構成された「東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育開発センター」を設置し、全学的にFD活動を実施している。(「東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育開発センター会議規程」は、添付資料12参照)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>令和4年度も規程に従い会議を実施する。必要に合わせてメール(書面)会議等も実施する予定である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育開発センター会議は、規程に従い下記の事項について審議、検討、実施する。</p> <p>①大学教育およびFDに関する研究活動、②大学教育およびFDに関する研修の企画・運営、③大学教育およびFDに関する普及・出版活動、④授業改善に関わる取り組み、⑤教材・テキストおよび研究書の編集・発行等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>令和3年度は、6月17日(7名中7名出席)、9月9日(7名中6名出席)、12月14日(7名中7名出席)に「教育開発センター会議」を実施したほか、必要に応じて書面会議を実施した。</p> <p>協議内容は、FD研修会の予定やアンケートの実施などの年度計画の決定、FD研修会の振り返りや、今後の実施内容の検討、アンケートの実施内容等である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全授業科目、全教員を対象とした「授業アンケート」を年2回(7月～8月・12月～1月)実施 2. 学内講師、学外講師によるFD・SD研修会を実施 3. 学修時間と学修行動、学生生活に係るアンケートを実施(9月・10月) 4. 学習成果等にかかるアンケートを実施(2月) <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「授業アンケート」(7月～8月・12月～1月) 全授業科目、全教員を対象にマークシート形式でアンケートを実施した。 2. FD・SD研修 講義形式の研修を3回、ワークショップ形式の研修を2回、動画配信1回、計6回の研修を実施した。 3. 学修時間と学修行動、学生生活に係るアンケート(9月・10月) 全学科、全学年の学生を対象にマークシート形式でアンケートを実施した。 4. 学習成果等にかかるアンケートを実施(2月) 全学科、全学年の学生を対象に授業形態や、大学生としての基礎的・汎用的能力に関する事項、各学科のDPIに関する事項を問うアンケートをオンライン形式で実施した。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度のFD・SD研修は、動画配信を含め計6回実施した。実施状況は下記のとおりである。

(1) Zoomの機能とグループの対応（FD・SD研修）

日 時：8月26日（木）15：30～17：00
場 所：341教室
講 師：教育開発センター委員
参加者：70名

(2) Zoomその2（FD・SD研修）

日 時：9月16日（木）15：30～17：00
場 所：341教室
講 師：教育開発センター委員
参加者：46名

(3) 科研費採択に向けて（FD・SD研修）

日 時：8月27日～
実施形態：YouTubeにて限定公開
講 師：永盛善博氏（東北文教大学人間科学部人間関係学科准教授）
下村一彦氏（東北文教大学人間科学部子ども教育学科准教授）
金子香織氏（東北文教大学職員）

(4) 大学でのハラスメント防止 ―被害者・加害者・傍観者を考える―（SD研修）

日 時：11月18日（木）15：30～17：00
場 所：341教室
講 師：中澤未美子氏（山形大学学術研究院）
参加者：57名

(5) 学生のメンタルヘルス、および問題を抱えた学生との関わり方（SD研修）

日 時：2月17日（木）15：30～17：00
場 所：631教室
講 師：宮川系子氏（東北文教大学カウンセラー）
参加者：70名

(6) 学生の学習行動とGPAの関係―学習時間と学修行動等アンケートの集計結果から―（FD・SD研修）

日 時：3月29日（木）15：40～17：00
場 所：631教室
講 師：本間はるか氏（東北文教大学職員）
参加者：63名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「授業アンケート」については、集計結果や自由記述を受け、各教員で改善を行っている。
また、研修やアンケートの結果については、各教員や学科で検討するとともに、改善に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

1. 実施時期 前・後期の14回目もしくは15回目の授業において実施（前期：7月～8月、後期：12月～1月）
2. 実施形態 全科目、全教員対象。マークシート形式での実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果及び学生の自由記述は、各教員へフィードバックしている。また、教員はその結果を踏まえ、結果に対するフィードバックとなるコメントを明示する。
集計結果はグラフ化し、フィードバックされた教員コメントと共に、学内で公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、設置2年目で現在、履行中である。

本学科は、豊かな人間関係を構築することができる資質能力を身につけ、グローバルコミュニケーション・心理・福祉の視点から地域社会や職場等の課題解決に貢献できる職業人養成を目的としている。専門科目を修める上で軸足を置く学問領域を定めさせるため、学生を2年次から「グローバルコミュニケーションコース」「心理総合コース」「福祉マネジメントコース」の各コースに所属にさせるようにしたが、コースの選択・決定にあたっては、学生の学修意欲を下げないようなコースの振り分けに注意を払った。1年次の専門基盤科目及び中心科目を通じて、学生が自らについて考える視点を持ち、自分自身の学びの方向づけができるよう教育した結果、設置計画のとおり各学生の希望に応じたコース選択がなされ、現在グローバルコミュニケーションコースに11名、心理総合コースに21名、福祉マネジメントコースに15名が所属して、学修を順調に進めている。

また、学科における教育の根幹をなし、人間関係の基本を学ぶ2年次開講の中心科目「人間関係論」においては、実際の職場における観察実習やグループワークなど、アクティブラーニングを取り入れた授業を展開しているが、総じて学生の出席状況は良好であり、自らの現状分析と課題設定にも真摯な取り組みを見せ、中心科目としての役割を果たしている。

さらに、自己点検評価の一環として例年実施しているステークホルダーからの意見聴取会においても、現場を知る機会を充実させることの重要性や、援助希求力など、人間関係の力をつける教育への期待の声が寄せられており、本学科の教育方針に対しては、地域の関係機関から一定の支持が得られている。

一方、学生の入学状況については、2年次までの収容定員充足率が7割強であり、学科の広報や選抜方法を改善するプロジェクトチームを編成し、定員確保に取り組んでいる。

また、設置の趣旨、及び目的達成状況を明確化し、学生に対して説明責任を果たすことを目的とした作業部会を学科内に立ち上げた。令和3年度においては、計17回会議を開催してこれに取り組んでいる。作業部会の成果については学科会議において報告し、学科構成員間で共有している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和4年12月公表予定

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に「自己点検評価書」を公開予定である。

③ 認証評価を受ける計画

本学では、7年に1度「日本高等教育評価機構」の認証評価を受審している。既設学科である子ども教育学科は、平成28年度に受審し、適格認定を受けている。子ども教育学科の受審に合わせ、人間関係学科も令和5年度の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [<調査結果公表後1ヶ月以内> ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [<ウェブサイトへの掲載> ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。